

環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2021)

「エンドレス グリーン プログラム 2021」(2019～2021年度)では、新たに海外も含めた全グループ会社を対象に「環境と企業収益の両立」に向けて、「ライフサイクル思考に基づくグループ・グローバル一体での環境経営の推進」をさらに加速。なかでも脱炭素化に向けた取り組みは、第6次中期経営計画(2019～2021年度)でも方針の一つに掲げ、重点を置いています。なお、当社グループでは事業における重要性と社会からの要請や期待を考慮してマテリアリティ(重要課題)を抽出、有識者からのご意見を参考に特定し、環境行動計画策定時に見直しを行っています。

 **マテリアリティ(重要課題)の特定**

重点方針

- SBT・EP100・RE100の実現に向け、**商品と事業活動の両面から“脱炭素”を推進**
- サプライチェーンにおける環境リスク低減**に向け、win-winの取り組みを協働
- 事業競争力の向上**に向け、**環境配慮商品・サービスの開発・普及を推進**
- 環境ブランド・ESG評価の向上**に向け、**戦略的な環境コミュニケーションを推進**
- 環境経営の推進**に向け、**グループ・グローバル一体での環境マネジメントを強化**

「エンドレス グリーン プログラム 2021」を振り返って

EGP2021においては、コロナ禍で目まぐるしく変化する事業環境のなか、環境活動の推進に苦慮する場面もありましたが、きめ細かなマネジメントによりPDCAを回した結果、気候変動関連を中心に主要な目標を概ね達成することができました。これは、この3年間で「eco検定」の取得を軸に従業員の環境リテラシーの向上を図り、2020年に見直した「環境長期ビジョン」の共有に努めてきたことが、現場レベルでの自律的な環境活動につながった成果の現れと考えています。

一方、EGP2021の計画期間中には、日本政府から「2050年カーボンニュートラル宣言」が

表明され、そのマイルストーンとして2030年の野心的な中間目標が掲げられました。そのなかでは、家庭・業務部門が大きな削減ターゲットとされ、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの拡大にも大きな期待が寄せられています。これらは、まさに当社グループの事業領域と密接に関わっており、改めて私たちの役割と責任の大きさを再認識しているところです。

これらをふまえ、2022年度からスタートするEGP2026では、引き続き、カーボンニュートラルを最重要テーマに、バリューチェーンを通じた野心的な目標を掲げて取り組みを加速させます。また、それらと連動してサーキュラーエコノミーやネイチャーポジティブに向けた取り組みにも注力していきます。



大和ハウス工業
環境部長 **小山 勝弘**

「エンドレス グリーン プログラム 2021」の主な目標と実績

 : 2021年度目標達成
 : 2021年度目標未達成(達成率90%以上)
 : 2021年度目標未達成(達成率90%未満)

重点テーマ	段階	管理指標	2018年度実績	2021年度目標	2021年度実績	
総合 (環境貢献型事業の拡大)	商品・サービス	● 環境貢献事業の売上高	11,172億円	14,000億円	13,969億円	
	調達	● 主要サプライヤーの温室効果ガス削減目標設定率	54%	90%	87.7%	
気候変動の 緩和と適応	事業活動	● GHG排出量(売上高あたり)2015年度比	26.3%削減	35%削減	41.4%削減	
	事業活動	● エネルギー効率(EP100)2015年度比	1.27倍	1.4倍	1.47倍	
	事業活動	● 再エネ利用率(RE100) ● 再エネ発電率	0.23% 84%	10% 100%	18.2% 131%	 
	商品・サービス	● 商品の使用によるGHG排出量(面積あたり)2015年度比	5.1%削減	6%削減	34.9%削減	
	商品・サービス	● ZEH販売率 ● ZEB販売率	29% 22%	70% 40%	63% 44.1%	 
	商品・サービス	● グリーンビルディング認証取得率	15%	80%	91.6%	
	自然環境との調和	調達	● Cランク木材比率	2.1%	0.0%	1.1%
資源循環	事業活動	● 建設廃棄物排出量(m ³ あたり)／新築	19.3kg/m ³	19kg/m ³	20.0kg/m ³	
	事業活動	● 建設廃棄物のリサイクル率	96.6%	97%以上	97.7%	
	事業活動	● 廃プラスチックのリサイクル率	90.1%	90%以上	93.4%	
水環境保全	事業活動	● 売上高あたりの水使用量 2012年度比	28.2%削減	34%削減	46.8%削減	
化学物質による 汚染の防止	事業活動	● PRTR対象化学物質排出・移動量(売上高あたり)2012年度比	49.9%削減	57%削減	69.3%削減	
	事業活動	● VOC排出量(売上高あたり)2013年度比	20.4%削減	15%削減	36.8%削減	
環境経営基盤強化	環境教育	● eco検定取得者数	4,402名	15,000名	19,033名	

 P145 環境行動計画の実績と自己評価